

勢和小学校だより

発行日：令和5年12月22日

第15号



4月からこれまでを振り返って

4月の始業式で子ども達に話したグー、チョキ、パーの例え話について振り返りました。

■グー「諦めないで頑張る」

1年生・・・

繰り上がりの足し算、漢字など初めての学習にも一生懸命に頑張っています。最近では、自信の無かった長縄もみんなで励まし合って、跳べるようになりました。手を振りながらの元気な挨拶も素敵ですね。

2年生・・・

給食当番や係の仕事を多くの人が手伝います。オン・オフをしっかり分けられて、遊ぶ時は楽しく、勉強中はまじめに取り組めます。自習の時も自分たちでしっかりやろうとしています。言い合いやケンカをしてもすぐに仲良くできますね。

3年生・・・

毎朝、教室に入る時、挨拶することを続けています。友達思いで励ましたり、助けたりすることが当たり前のようになります。自分たちでグループ活動を進められ、話し合い活動では建設的な意見交流ができていますね。

4年生・・・

トイレのスリッパ見守り隊を発足させたり、時間いっぱい掃除を頑張ったり、最近では西向教諭のお別れイベントを自主的に企画したり、まさに学級目標の

最高のウルトラスーパー4年生です。

5年生・・・

グラフを用いてプレゼンテーション用の作文を書き上げたり、話を要約してまとめたり、文章をたくさん書く学習もしっかりやりきりました。話し合い活動では、よりよい意見にしようと仲間と活発な議論ができます。友達の失敗を許せる優しさをも持ち合わせています。

6年生・・・

3Fトイレのスリッパが4月からずっと揃っていたり、給食の食器を割らないように丁寧に扱ったり、最近では縄跳び集会の練習で下級生を励ますなど、最高学年としての役割をしっかり果たしています。

学校の問題にも何かできることはないかと自分事として考えています。

令和6年も自分のよさ、自分たちのよさを生かして、成長して行って欲しいです。

■チョキ「意地悪な心、卑怯な心を切り落とす」

学習発表会でSEC委員会が発信したいじめ防止啓発の内容について、全学年で話し合いを持ちました。

特に6年生では、「ふざけだと思っていてもいじめになることを知った。」「相手が嫌だと思ったらいじめ

になることを知った。」等の感想がありました。

また、「いじめを見かけたら勇気を持って声をかける。」「いじめられている子の話を聴く。」「いじめられている子に寄り添うことが大切だと思った。」等、決意を持ちました。

先日開かれた勢和中校区人権フォーラム RAMO コンサートで歌われた歌詞には「無関心が最大の暴力」というフレーズがあり、6年生の思いが重なっているなと思いました。

自分の言動を見つめ直し、誰にとっても過ごしやすい安心・安全な学校になるよう、子ども達と共に取組を進めていきます。

■パー「元気に挨拶、そして正直に」

後期始業式で話をした「あいさつ」の極意、

あかるく、いつでも、さきに、つづける

ことについて、昨年度からずっと挨拶をつづけている人たちがいます。

なかむら 中村 そうま 颯真さん、たぐち 田口 とうま 冬馬さんをはじめ5年生の多くの人たちは、食缶や食器などの片付けをしている伊藤校務員に昨年度から、給食後に「ありがとうございます。」と言って昼休みの遊びに出かけていきます。職員室にいても、よく聞こえるような大きな声で、聞いていて実に気持ちがいいです。

また、下出江地区の通学団では、道路を横断した際に、停まった車のドライバーに大きくお辞儀をしている人がいます。「すごく気持ちがいいです。」と学校にわざわざ電話をくださる方もみえます。

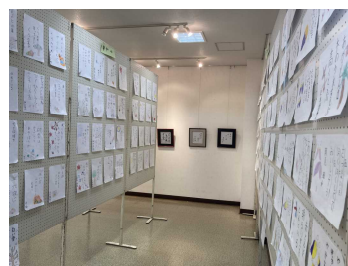
素敵な挨拶が広がり、続いていくことを期待して

います。



BANKYO文化会館で俳句展開催中

BANKYO文化会館で、くすのき俳句教室主催の俳句展が開催され、本校から応募した2年生以上の子ども達の作品が展示されています。



今月27日迄、開催されます。ご都合つきましたら、ご訪問なさってください。

人事異動のお知らせ

4年担任の西向が12月15日で産・育休に入ったことから、須賀智愛（すが ともえ）が新たに担任として子ども達に関わっていきます。

お詫び

12月13日発行学校だより14号 野村農機前の坂が双葉坂に命名された記事において、4候補の坂名で双葉坂が重複しておりました。正確には中央坂、双葉坂、絆坂、勢和坂です。お詫びして訂正します。